

令和7年9月8日

関係機関所属長 殿

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター長
柿本 竜治（公印省略）

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門
教授候補者の公募について

標記のことについて、本学くまもと水循環・減災研究教育センター沿岸環境部門 教授候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関において教授候補の適任者がおられましたら、下記により御推薦賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名及び人員 教授1名
2. 採用時期 令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期
3. 所 属 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門
4. 専門分野 沿岸域を対象とした古生物学（現生種も含む）・古環境学に関する分野
5. 担当科目 理学部、その他の学部・学環などにおける地球科学・生物学の関連科目（特に生態・多様性分野）、教養教育科目（地球科学・生物学全般に対応できることが好ましい）、合津マリンステーションにおける臨海実習等の実習科目
6. 応募期限 令和7年10月8日（水） 必着
7. 応募資格
 - （1）博士あるいは Ph.D.の学位を有する方
 - （2）沿岸域を対象とした古生物学（現生種も含む）・古環境学において優れた研究業績を有する方
 - （3）十分な野外調査経験を有し、野外（実習船含む）における教育・指導ができる方
 - （4）新しい分野を切り開く意欲が旺盛な方
 - （5）国内的、国際的な視点から、地域社会や産・官界と連携して活動できる方
 - （6）センターにおける研究活動及び運営並びに理学部・大学院自然科学教育部理学専攻・その他の学部・学環などにおける教育・実習に対して十分な能力と熱意がある方
 - （7）合津マリンステーションの管理・運営、特に「教育関係共同利用拠点」としての教育・実習（夏・春季休暇時に集中して行われる）などの活動推進ができる方
 - （8）英語による講義ができる方
 - （9）外国人の場合には、学内諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有する方

8. 労働条件等

- (1) 職務内容 : (雇入れ直後) 教授としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- (2) 勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす。
- (3) 任期の定め : なし
- (4) 試用期間 : 6か月
- (5) 勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学合津マリンステーション
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- (7) 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる。
- (8) 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

9. 提出書類 (以下の書類のテキストファイルを CD-ROM などの電子媒体で同封、提出願います)

- (1) 履歴書 (様式なし、市販のもので可) 1部
写真を貼付し、連絡先欄に E メールアドレスも記入すること。なお、男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。
- (2) 業績リスト 1部
査読付原著学術雑誌論文、査読付総説 (レビュー)、国際会議論文、査読無学術論文・紀要・総説・解説・研究報告等、学位論文、著書、特許、招待講演・依頼講演、一般講演、学会賞などの受賞、科学研究費等の外部資金の取得状況、教育業績、学内活動、学会等における活動、社会における活動に区分すること。書式は、下記ホームページのテンプレートを利用してください。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujuhou/saiyou/index_file/koubo_template3.doc
- (3) 主要論文5編の別刷り (コピー可) 1部
- (4) 現在までの研究概要 (A4用紙に2000字程度) 1部
- (5) 今後の研究計画と抱負 (A4用紙に1000字程度) 1部
- (6) 学生の教育に対する抱負 (A4用紙に1000字程度) 1部
- (7) 申告書 (様式有) 申告書は以下の本学ホームページに掲載のテンプレートをご使用ください。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujuhou/saiyou>
- (8) 所見を求めうる方 (2名) の氏名・所属・連絡先 1部
連絡先は、E メールアドレス及び電話番号を記入すること。

10. 提出方法 封筒に「教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留で下記書類提出先にご送付ください。

- 11. 選考方法 第一次選考 書類審査 令和7年10月中旬の予定
第二次選考 面接審査 令和7年11月上旬の予定
※面接時の旅費等の経費は自己負担
- 12. 書類提出先 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター センター長 柿本 竜治
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
- 13. 問合せ先 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門
部門長 嶋永 元裕
E-mail: motohiro@kumamoto-u.ac.jp

14. センターのホームページ <https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp>

15. その他

- ・熊本大学は、ダイバーシティを推進しています。

<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>

- ・合津マリンステーションは、くまもと水循環・減災研究教育センターの臨海実験施設で、本学のメインキャンパス（熊本市黒髪）から離れた熊本県上天草市松島にあります。文部科学省の教育関係共同利用拠点に認定されており、これらの拠点活動にも関わっていただきます。
(詳細はホームページをご覧ください。 https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/)
- ・応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。なお、応募書類及び提出物は返却いたしません。
- ・選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。
- ・熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等への給与の上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct